

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	松くい虫被害対策自主事業			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民	目的	松の枯死の原因となる松くい虫の被害を防止し、松の保全を図る。			
事業概要	松くい虫の被害防止として、健全な松に樹幹注入の実施や被害木の伐倒処理を行い、松の保全に取り組む。					

事業予算						
会計	01	款項目	05	02	01	0001 松くい虫被害対策自主事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
	直接事業費	1,180		1,578		1,689
	概算人件費	514		527		527
	トータルコスト	1,694		2,105		2,216
	国庫/県支出金	567		636		963
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.1人		527千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			527千円		

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	松枯れ防止剤の注入数（アンプル）	330	330	330	330	330
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	緑地の保全と緑化の促進	4.00	3.32
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 樹幹注入や被害木の伐倒処理により、松の保全が図られており、引き続き松くい虫の被害防除に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	農業振興事業			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●		●	●	●
事業対象	町民、農業者	目的	農地の担い手の育成や各種団体の育成及び協議会等への支援を推進するとともに、地元農産物の地産地消を促進し、農業の振興を図る。			
事業概要	次世代を担う農業者への支援や農林水産まつり、各種団体を通じた地元農産物の普及等を促進し、農業の振興に取り組む。					

事業予算						
会計	01	款項目	05	01	03	0002 農業振興事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
				R4事業費		
	直接事業費	3,348		2,573		3,517
	概算人件費	2,822		2,985		2,985
	トータルコスト	6,170		5,558		6,502
	国庫/県支出金	2,542		2,088		2,182
	その他	207		2		231
R2概算人件費	正規職員			0.81人		2,985千円
	再任用職員			人		千円
	会計年度任用職員			人		千円
	その他			人		千円
	合計					2,985千円

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	認定新規就農者数【戦略】 (人)	2	2	2	2	2
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 農林業振興の推進	3.82	2.89
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 農地の担い手が不足している状況であるため、今後も担い手の確保に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	農業委員会運営経費			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●	●	●	
事業対象	農業者	目的	関係法令に定められた許可等の審議を適正に行うとともに、農地利用の最適化を図る。			
事業概要	農業者への啓発・情報提供、農業委員会活動の運営などを行い、農地保全や地域農業の振興を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	05	01	01	0001 農業委員会運営経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
	直接事業費	2,730		2,738		2,836
	概算人件費	2,652		3,155		3,155
	トータルコスト	5,382		5,893		5,991
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.75人		3,155千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			3,155千円		

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	集積面積（新規）（ha）	0.7	0.6	0.3	0.3	0.6
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	農林業振興の推進	3.82	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	農地の集積には、担い手の確保が必要であるため、担い手確保及び農地集積を平行して進める必要がある。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	農業者年金事業			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●			●	
事業対象	農業者	目的	農業経営者の農業者年金への加入促進をすることにより、老後の生活安定を図る。			
事業概要	農業者年金に加入することで、国民年金と併せて受給することができるため、啓発に努め農業者の老後の生活安定を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	05	01	01	0002 農業者年金事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	35		35		39
	概算人件費	248		285		285
	トータルコスト	283		320		324
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	35		35		39
R2概算人件費	正規職員	0.06人		285千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			285千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 新規加入者数（人）	0	0	2	2	1
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 農林業振興の推進	3.82	2.89
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等 近年、加入者が少ないため、更なる制度周知が必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	畜産推進事業			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	
事業対象	畜産農家	目的	畜産経営を維持強化するため、関係団体の育成及び補助事業等を実施する。			
事業概要	町内の畜産農家が組織している畜産会に補助金を交付し、飼育技術の向上や酪農の啓発など畜産経営の支援に努める。					

事業予算						
会計	01	款項目	05	01	04	大事業 0001 畜産推進事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	264		235		372
	概算人件費	1,328		1,260		1,260
	トータルコスト	1,592		1,495		1,632
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.25人		1,260千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,260千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 飼育頭数（頭）	60	50	51	44	44
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 農林業振興の推進	3.82	2.89
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等
町畜産会等と連携し、畜産経営体維持のための確な支援を行う必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	有害鳥獣対策事業			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●		●	●	●
事業対象	農業者	目的	農作物を野生鳥獣から守るために、自主防除及び駆除を中心とした対策を支援する。			
事業概要	農業者や猟友会と組織した有害鳥獣対策協議会に補助金を交付し、農作物の防除に対し支援を図る。また、農業者が自己防除するために防除資材の購入費用を補助する。					

事業予算						
会計	01	款項目	05	01	03	大事業 0004 有害鳥獣対策事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	1,152		1,766		1,709
	概算人件費	2,993		2,865		2,865
	トータルコスト	4,145		4,631		4,574
	国庫/県支出金	353		610		375
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.61人		2,865千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,865千円		

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	有害鳥獣の捕獲頭数（頭） 【戦略】	57	57	124	140	100
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 農林業振興の推進	3.82	2.89
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 継続的な自主防除に対する補助に加え、町有害鳥獣対策協議会等と連携した広域防護柵設置等を進める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	土地改良事業			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●			●	
事業対象	農業者	目的	農道の整備及び維持管理を行う。			
事業概要	農道の整備及び維持管理を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	05	01	05	大事業 0001 土地改良事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	9,260		8,852		17,084
	概算人件費	1,153		1,159		1,159
	トータルコスト	10,413		10,011		18,243
	国庫/県支出金	1,870		1,815		1,293
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.27人		1,159千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,159千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 農林業振興の推進	3.82	2.89
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等 財源の確保に加え、費用対効果を踏まえ農道の整備、維持管理を行う必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	遊休・荒廃農地対策事業			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●			●	●	●
事業対象	農業者	目的	遊休・荒廃農地を解消し、農地の保全に努める。			
事業概要	農業委員の業務として農地パトロールを実施し、遊休農地や違反転用などの実態があった場合には、所有者に指導等を行い農地の保全に努める。					

事業予算						
会計	01	款項目	05	01	01	0003 遊休・荒廃農地対策事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	694		509		1,228
	概算人件費	867		1,648		1,648
	トータルコスト	1,561		2,157		2,876
	国庫/県支出金	485		400		517
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.43人		1,648千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,648千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 遊休農地の解消面積(ha)	0	0.28	0.4	0.4	0.4
② 認定新規就農者数(人) 【戦略】	2	2	2	2	2

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 農林業振興の推進	3.82	2.89
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 遊休・荒廃農地の解消には、担い手の確保や農地の集積が必要であるため、連動したなかで遊休・荒廃農地解消につなげていく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	ふれあい農園事業			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●		●	●	●
事業対象	町民	目的	農地の荒廃化の防止と町民の余暇利用を促進する。			
事業概要	借地した農地を106区画に分け、町民にふれあい農園として貸し出しを行っている。					

事業予算						
会計	01	款項目	05	01	03	大事業 0001 ふれあい農園事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	201		663		216
	概算人件費	545		999		999
	トータルコスト	746		1,662		1,215
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	226		239		216
R2概算人件費	正規職員	0.31人		999千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			999千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 貸出区画数（区画）	106	104	106	106	106
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 農林業振興の推進	3.82	2.89
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等
 市民農園に関しては、行政だけではなく農家等も開設可能であるため、開設方法等の更なる周知を行う必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	里山再生育成事業			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	山林所有者等の協力を得て、教育活動やボランティア活動による里山体験を促進し、里山の再生育成を図る。			
事業概要	里山の再生に携わる炭焼き会・竹の会、及び農業委員会等で構成した里山づくり推進協議会に補助金を交付し、里山体験として園児に田植え体験や町民対象に椎茸植菌教室を開催している。					

事業予算						
会計	01	款項目	05	02	01	0002 里山再生育成事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	344		311		299
	概算人件費	1,633		1,148		1,148
	トータルコスト	1,977		1,459		1,447
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		30
R2概算人件費	正規職員	0.26人		1,148千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,148千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 里山体験回数（回）	2	1	0	2	2
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 農林業振興の推進	3.82	2.89
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	□	□	■	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等

- ・体験を通じた里山への理解や周知が図られているので、引き続き実施する。
- ・里山管理事業を実施。（コロナの影響により、田植え・稲刈り体験と植菌教室ともに中止）

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	水産振興事業			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●			●	●	
事業対象	漁業者	目的	二宮町の水産業の振興を図る。			
事業概要	大磯二宮漁業協同組合や広域的に漁業者の育成や水産資源の保全などの活動をしている団体に補助金を交付し、水産業の振興を図っている。					

事業予算						
会計	01	款項目	05	03	01	大事業 0001 水産振興事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	295		295		295
	概算人件費	238		329		329
	トータルコスト	533		624		624
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.1人		329千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			329千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 漁業体験回数（回）	-	1	0	1	1
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 水産振興の推進	3.85	2.83
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 漁業者の育成や水産資源の保全などの活動をしている団体の支援等を継続的に行っていくとともに、漁業体験学習等により、水産業に対する啓発に努める必要がある。（漁業体験はコロナの影響で中止）

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	漁港整備事業			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	漁業者	目的	漁港の整備及び維持管理を行うことで環境を保持し美化に努める。			
事業概要	漁港区域内に設置している漁港保全施設及び海岸保全施設の維持管理を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	05	03	02	大事業 0001 漁港整備事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
		直接事業費	6,446	8,560	3,750	
		概算人件費	871	805	805	
		トータルコスト	7,317	9,365	4,555	0
		国庫/県支出金	0	0	0	
		その他	815	813	830	
R2概算人件費		正規職員		0.25人	805千円	
		再任用職員		人	千円	
		会計年度任用職員		人	千円	
		その他		人	千円	
		合計			805千円	

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 水産振興の推進	3.85	2.83
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 漁港区域内の安全対策や美化向上等、維持管理を行えている。不法投棄物等の対策として、引き続き、啓発を行う必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	特産物普及奨励事業（農業再生事業）			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●		●	●	●
事業対象	農業者	目的	二宮町の特産品である落花生、湘南オリーブを普及奨励し、農業再生の一助とする。			
事業概要	落花生とオリーブの生産農業者に補助を実施し、生産意欲の向上を図り、町の特産品として生産量を確保する。					

事業予算						
会計	01	款項目	05	01	03	0003 特産物普及奨励事業（農業再生事業）
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	963		362		863
	概算人件費	2,262		2,382		2,382
	トータルコスト	3,225		2,744		3,245
						0
国庫/県支出金	0		0		0	
その他	0		0		0	
R2概算人件費	正規職員	0.73人		2,382千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,382千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① オリーブの生産量(t)【戦略】	1.1	1.1	0.9	1.8	2.1
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 特産品の普及と二宮ブランドとの連携	3.81	3.03
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 オリーブに関しては、商品数が増加傾向であるものの、生産量が少ないので、生産農家に対する栽培技術指導が必要になっている。将来的な計画値と実績に乖離が生じているため、生産農家の状況等を踏まえ、今後見直す必要がある。また、落花生の生産数が減少しているため、普及について取り組む必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	商工業振興対策経費			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	●
事業対象	町民、事業者	目的	町内中小企業の健全な育成振興を目的とし、町商工会をはじめ、各商店の機能が十分発揮されるよう組織の育成・強化を図る。			
事業概要	町商工会と町商店連合協同組合に補助金を交付し、団体の事業の推進を支援し、各事業所の育成を振興する。					

事業予算						
会計	01	款項目	06	01	02	大事業 0001 商工業振興対策事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	11,229		105,263		82,726
	概算人件費	1,316		2,382		2,382
	トータルコスト	12,545		107,645		85,108
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.5人		2,382千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,382千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 町内起業・開業件数（商工会加入件数）（件）【戦略】	8（22）	9（22）	3（29）	5（20）	5（20）
② 起業相談件数（件）【戦略】	20	20	20	20	20

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 商工業の振興	3.89	2.83
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 ・新型コロナウイルスの影響に対する補助事業（支援金交付、家賃支援、事業継続支援、飲食店応援クーポン、プレミアム商品券）を実施し、事業者への支援を図った。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	中小企業金融対策事業			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	●
事業対象	町民、事業者	目的	中小企業の健全な育成を図るため、指定金融機関に資金を預託し融資制度を設け、併せて資金の利用者に対し、信用保証料及び利子の補助をする。			
事業概要	事業資金の貸付制度の運用、また貸付に伴う信用保証料や利子を補助し、町内事業者の育成を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	06	01	02	大事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込
				R 4 事業費		
		直接事業費	19,904	28,265		27,196
		概算人件費	1,910	1,432		1,432
		トータルコスト	21,814	29,697		28,628
		国庫/県支出金	0	0		0
		その他	17,000	23,000		23,000
R 2 概算人件費		正規職員		0.31 人		1,432 千円
		再任用職員		人		千円
		会計年度任用職員		人		千円
		その他		人		千円
		合計				1,432 千円

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	町融資制度利用件数（件） 【戦略】	11	21	20	10	10
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	中小企業への支援	3.82	2.88
2	起業支援	3.72	2.84
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 新型コロナウイルスの影響を受けた事業者を支援するため、融資総額の拡充や利子および信用保証料の補助額を拡充するなどし、事業の継続に努めた。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	勤労者福祉対策事業			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●		
事業対象	町民	目的	町内在住の勤労者に対する福祉の増進と生活の安定向上を目的とし、勤労者生活資金融資預託等を推進する。			
事業概要	勤労者の生活安定を図るため、中央労働金庫と連携し、貸付制度の創設や住宅ローンの利子補助を行い、また勤労者の福祉の増進を図ることを目的とした団体に補助金を交付する。					

事業予算						
会計	01	款項目	06	01	04	大事業 0001 勤労者福祉対策事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	5,777		5,754		6,024
	概算人件費	965		464		464
	トータルコスト	6,742		5,754		6,488
	国庫/県支出金	177		291		334
	その他	5,000		5,000		5,000
R2概算人件費	正規職員	0.12人		464千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			464千円		

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	湘南地区労働行政連絡協議会の開催（回）	3	3	3（書面）	3	3
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 勤労者福祉の充実	3.83	2.80
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	□	□	■	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 広域的な連携や各種団体への支援により、勤労者福祉対策に結びついている。融資制度については、利用者が減少傾向であるため、必要に応じた見直しなどの検討が必要になる。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	中小企業退職金共済制度補助事業			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●		
事業対象	町民、事業者	目的	町内の中小企業が雇用する従業員の福祉の向上と雇用の安定化を図る。			
事業概要	従業員の退職金を支払うために、中小企業退職金共済機構に掛け金を支払いをしている事業主に対して、掛け金の一部を補助し、従業員の福祉の向上を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	06	01	04	0002 中小企業退職金共済制度補助事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	480		440		733
	概算人件費	670		605		605
	トータルコスト	1,150		1,045		1,338
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.16人		605千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			605千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 新規加入者数（人）	21	11	12	10	10
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	勤労者福祉の充実	3.83	2.80
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等

事業者への支援により、従業員の福祉の向上や雇用の安定化に結びついている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	観光振興対策経費			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●		●
事業対象	観光客、町民	目的	町の観光振興を目的とし、観光客の来訪促進を図る。			
事業概要	観光協会に補助金を交付し、菜の花ウォッチングなどを実施することで誘客を図るほか、HP等で町の魅力を発信する。また、湘南地区観光振興協議会で、湘南への誘客イベントを実施している。					

事業予算						
会計	01	款項目	06	01	03	大事業
		R1決算額（千円）	R2決算額		R3決算見込	
			R4事業費			
	直接事業費	9,952	6,615		10,561	
	概算人件費	918	851		851	
	トータルコスト	10,870	7,466		11,412	
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R2概算人件費	正規職員	0.19人		851千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			851千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 入込観光客数（人）【戦略】	550,860	550,860	498,907	560,600	566,000
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 観光情報の発信の充実	3.87	3.23
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	□	■	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 広域連携による誘客やイベントの開催等により、観光振興が図っているが、新型コロナウイルスへの対応など時代に即した振興策について観光協会と連携し、検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	観光施設維持管理事業 ※			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
事業対象	観光客、町民	目的	公衆トイレ等、観光施設の維持管理を行う。			
事業概要	梅沢川、川匂地内観光用公衆トイレの維持管理を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	06	01	03	大事業 0002 観光施設維持管理事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	
			R 4 事業費			
	直接事業費	1,140	1,136		1,279	
	概算人件費	276	181		181	
	トータルコスト	1,416	1,317		1,460	
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.03 人		181 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			181 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 観光情報の発信の充実	3.87	3.23
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等
 繁忙期や閑散期ごとの管理を行うとともに、必要に応じた維持補修を行うことで、観光客等の利便が図られている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			